

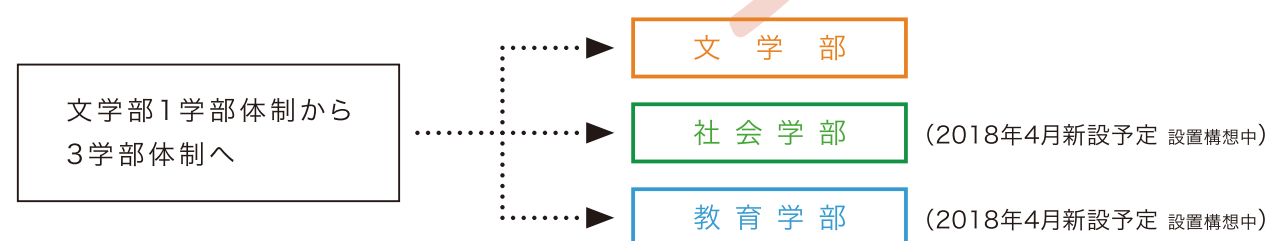
■ 大谷大学のメッセージ ■

# その声を、心の中に。

この社会で起きていること、人々の声を、  
心の中に、ふと留め、置いてみる。  
どうしたら、人が笑顔になるのだろう。  
どうしたら、人にもっと寄り添えるのだろう。  
みんなが、みんな、自分らしく生きるって、  
どういうことだろう。  
そう考えることから、大谷大学の学びがはじまります。

人の気持ちを考え、感じる心。  
それが未来を動かす原動力になる。  
そんな心を育てるために。

2018年4月、大谷大学は  
3学部体制に生まれ変わります。



大谷大学地域連携室  
コミュ・ラボの活動をWEBサイトでも発信中。

「大学を飛び出して、地域のおもしろいに出会おう。」を合い言葉に、さまざまなプロジェクトを実施。活動の様子をはじめ、積極的に取り組む学生たちの姿を、ぜひご覧ください。

アクセスはコチラから  
<http://commulabo.otani.ac.jp>



SNSでも  
発信中!



社会と、地域と、  
つながる人へ。



福祉  
介護



2018年4月新設予定 設置構想中

## 社会学部

コミュニティデザイン学科

- ・地域政策学コース
- ・社会福祉学コース

現代社会学科

- ・公共社会
- ・人間関係
- ・現代文化

※設置される学部・学科等の名称・内容などは予定につき、変更される場合があります。



地域  
デザイン

## 学びは出会いの中にある。 社会へ飛び出し、未来へとつなげよう。

豊かで便利な社会のように見える日本。

しかしその裏にあるのは、少子高齢化、地方の過疎化、経済格差、自然災害…

たくさんの社会問題が進行し、困っている人々がいます。

本当の豊かさとは何なのか？それは、人や地域がもっとつながって

“ともに生きる社会”のなかで見出せるものではないでしょうか？

そのためにも、困っている人々に「寄り添う心」を原動力に、

「人と人をつなぎ、問題を解決する力」を身につけたい。

人と人、人と地域、お互いが敬いあい、支えあい、ともに生きていく、

これからの社会を創造する人をめざして。

地域課題に直接ふれ、解決する「実践力・課題解決力」を！

## コミュニティデザイン学科

地域政策学コース／社会福祉学コース

地域におけるさまざまな課題に向きあい、まちづくりや相談・援助などの実践的な手法を学びながら解決の方向を見出していきます。

POINT 01 大学を出て、地域を訪れ、課題を探し、現場主義の学び。

POINT 02 演習(ゼミ)を中心とする、プロジェクト型学習。

POINT 03 人と会う、聞く、話す、実践力が身につく4年間。

テーマ例



卒業後の主な進路 ■公務員・地方公務員 ■NPO・教育、医療、福祉、公共交通、通信などの公共団体 ■観光・販売・銀行など ■社会的起業家

社会学部の2学科

社会現象を的確にとらえ、社会と人の関係性を深める「探究力・課題解決力」を！

## 現代社会学科

公共社会／人間関係／現代文化

学生の興味・関心のある、あらゆることが学びの対象です。自由なテーマ設定のもと、社会学の専門的なものの見方や考え方、調査・分析方法を学んでいきます。

POINT 01 幅広いテーマを、自由かつ柔軟に探究する学び。

POINT 02 演習(ゼミ)や、プロジェクト型研究などのアクティブ・ラーニング。

POINT 03 現代社会に求められる、調査・分析力が身につく4年間。

テーマ例



卒業後の主な進路 ■報道・出版・販売・サービス・観光・銀行など ■公務員・地方公務員 ■自営業・起業家



地域のおもしろいに出会おう。

全員が1年次から参加するプロジェクト型の学び。

社会や地域とつながる学びの活動拠点「コミュ・ラボ(地域連携室)」。

大学を飛び出して、地域にある課題を知り、調査し、魅力を考え、解決するための方法をみんなで考えていきます。ワークショップやイベント運営、情報発信などの活動を通じて、実践力を身につけます。

▶ 詳しくはコミュ・ラボサイトへ

社会の中のあらゆる出来事が研究テーマ。  
学びのサイクルを循環し、課題解決力を養います。

テーマについて「話し、聞き、見る」「調べる、読む、まとめる」「伝える、見返す、やり直す」のプロセスを経験します。そのなかで、課題の「発見」「整理」「共有」「解決に向けた協働」のサイクルを実践し、課題解決力を養います。

